

国
語注
意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マークシート解答用紙と記述解答用紙とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。マークシート解答欄は余りがでることがあります。
3. マークシート解答用紙は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. マークシート解答用紙にマークするときは該当する○にはつきりとマークしてください。
マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ○ ⊗ ⊙ ⊖
5. (万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)
マークシート解答用紙に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにしていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、マークシート解答用紙には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときにはマークシート解答用紙の「受験番号記入上の注意」をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
7. 記述解答用紙には、氏名、受験番号を記入してください。
7. 試験問題はこの冊子の一〜十三ページに記載されています。
8. 問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
8. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 次の文章を読み、後の問に答えよ。

大学に入ったところから、私は読んだ本の抜き書きをするようになった。就職をすると量は減ったが、それでも退職してテレビライターになって数年たつまではなんとか続けていた。

やめたのは手が痛くなったからである。

書くことを仕事に選んで、余暇もまた書くというのは、手のためによくないと感じた。以後は本に傍線を引くというようにしたのだが、あとで役に立つかどうかという点でいえば、格段に抜き書きである。「あの本にちょっとしたいいことが書いてあったな」¹ と思って、その本をひらき「ちょっとしたいいこと」をさがすのには傍線も役に立つが、その本と配線が切れてしまうと「いいこと」はなかなかよみがえらない。

もともと傍線も捨てがたいところがあり、昔読んだ本を久し振りでひらくと何より

2

の変化に驚くのである。

主観的には若いときとそれほど変わっていないような気がする。肉体の変化に比べて、精神や感覚はそれほど年齢の影響を受けていないような気がする。ところが、傍線によって、そうではないことを知るのである。

詩のようなもの、感覚に属するような個所で、その違和は大きい。ああ、こういう詩に胸打たれていたのだな、といまはその個所に感動する能力が消え失せていることを思い知る。時には、何故そこに傍線がひかれているのか、まったく見当がつかなくなっていることもある。

今では面倒くさくて読まないような本の傍線は、要点だけつまみ食い出来て助かることもある。「こんなつまらないことに感心していたのか」と呆れることもあ^{あき}る。

鈍化、

3A

したところもあり、成熟、

3B

したところもあることが分るのである。

事情は抜き書きだつて同じようなものだが、こちらはちよくちよくひらいて読み返すので、意外性は大部薄くなっている。それでも「あれ、こんな抜き書きがあつたのか」と読み返すたびに、そんな感じがあるのは、ある程度量があるからであろう。

「信念によつて達成される大半は、極度の浅薄さによつてもなしとげられる。もし信念が現在を拒絶するならば、浅薄さは現在を軽くあしらい、それを無視する。信者と軽薄者の双方は、たやすく自己犠牲ができる。双方とも困難に処して人を支える堅忍不拔の精神を生じる。双方とも極端になりうる」(E・ホッファー『情熱的な精神状態』)

こういう言葉から教えられることは、一つではない。戦争中の信念の人が、ともあれあの信念に嘘はなかった、純粹だつたと振りがえつたりしているのにつかつたりしたときの、なんともいえない

4

が、一挙に説明されたような気がしたりする。

ホッファーには一時夢中になり、なにかといえばホッファーというので、テレビ局の人の笑いものになった。いまこれを書くのに抜き書きノートをひらいても、ホッファーのあたりでは、つい読み続けて時間をくつてしまう。引用もしたくなる。

「血肉の生身たる自己から最も遠いものは何か？」

言語だ「言語が人びとを動かし、行動にかりたてるのは、それをほとんど

無意味なシンボルに翻訳することによつて可能となる」^注史上しばしば、行動は言語の反響^{エコー}であつた」などなど。

たしかに抜き書きは、アフォリズムめいたものが主流になる。長々と前後を書き抜かなければ、感動した一行のよさが分らないというようなものはついはぶくので、私のノートも多くは右のようなものだが、時折はこんなものもある。

「あまり酒をのみすぎてはいけない」(ウィリアム・スタイロン『ロング・マーチ』付録「ウィリアム・スタイロンは語る」)

5

である必要はまったくなく、何故こんなものを書いたのかよく分らないが、多分二日酔で苦しんでいた

か、抜き書きに味を添えたつもりだったのであろう。

〔中略〕

私はいまこれらの引用を一九六八年八月から翌年の七月まで使っていた一冊に限っている。テレビライターになつており、学

生の頃は二、三ヶ月で一冊ということもあったのが、一年で一冊というテンポになっている。

それでも読んで行くと、

6

のような役割ももっているのである。その時期になにを読んでいたかが分るのは当たり前だが、書き抜いていた時の感情を思い出したりもするのである。

「古川ロッパが座敷に招かれた時、若い役者が座布団の位置を気にしているのをみて」どこにでも座りなさい、お前が座ればどこでも下座だ」(永六輔『芸人その世界』)

ドラマが終わったパーティなどで、テレビライターは、新米でも一応形式的には上座をあたえられる。しかし座が賑わってくと、パーティの中心は私のような芸も徳もない人間の周辺にはなく、いつの間にか隅っこにいるような気持になっていることがよくあった。この抜き書きを読むと、その頃の気分、パーティからの帰り道、追いかけて来て「もう一軒行きましょう」というてくれた老俳優のいまはないことなどを思い出すのである。

その頃の私は、テレビのホームドラマが現実をほとんど反映していないことに不満を抱いていた。で、事実近く、というのが、私の基本方針であった。なんとか「ほのぼのした」ホームドラマではない、観る人に他人事ひとごとと思わせないドラマを書こうとしていた。現実を反映させればいい、それだけで意味があると思っていた。そのことを疑っているとは思っていなかった。ところが、ノートをくっているとそうではないのである。

「本⁷当らしく嘘をつくということの、嘘をつくほうのことがだんだんなくなっちゃって、本⁷当らしくだけになってくると、それなら事実のほうがいいではないかということになってきて、だんだん負けが込んで来る。そう言う感じを持つね(いいだ・もも)座談会・現代の言葉とはなにか」雑誌『海』発刊記念号)

現実をドラマが反映しただけなら、ドキュメンタリーや日々のニュースにかなうわけがなく、そこをスタートにしてフィクションの世界をつくるのでなければドラマの意味はない、などとこの頃の私はぼざいているのであるが、そういう思いが「事実

に近く近く」とばかり考えていた頃の私にあったということは、いま頁をくっつけてはじめて知ったのであった。

本は、やはり読んでも大半忘れてしまう。忘れるようなことは忘れてしまっているのだ、忘れなかったものだけが、なにものかなのだ、という意見もあるが、忘れっぽい私は、反対である。

抜き書きしたことも読んだことも忘れてしまっている文章に、いくらでも教えられることがあるのである。手が痛くなったからとはいえず、⁸抜き書きをやめてしまったことが悔やまれる。

この文章を機会に、何年に一冊というような速度でいいから、抜き書きを復活しようと考えている。

(山田太一『いつもの雑踏いつもの場所で』より)

注 アフォリズム 人生・社会・文化などにかんする見解を短く表現したもの。警句や箴言^{しんげん}とも言ふ。

問一 傍線部「その本と配線が切れてしまう」にもっとも近い意味のものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマ

ークシート a)。

① 内容に感動でなくなる ② 別の本と勘違いする ③ タイトルが思い出せなくなる

④ 本自体とつながりがなくなる ⑤ 筆者が誰かわからなくなる

問二 空欄2に入るもっとも適切な語を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート b)。

① 社会 ② 肉体 ③ 知識 ④ 自分 ⑤ 仕事

問三 空欄 3 A、3 Bに入る組み合わせとしてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシ

ト c)。

① 3 A 純化 3 B 退化

② 3 A 老化 3 B 深化

③ 3 A 劣化 3 B 異化

④ 3 A 美化 3 B 進化

⑤ 3 A 悪化 3 B 分化

問四 空欄 4に入るもっとも適切な語を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート d)。

① わりきれなさ ② 気まずさ ③ いたたまれなさ ④ ずるがしこさ ⑤ しらじらしさ

問五 空欄 5に入るもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート e)。

① 酒 ② 日本語 ③ ウィリアム・スタイロン

④ アフォリズム ⑤ ノート

問六 空欄 6に入るもっとも適切な語を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート f)。

① 日記 ② 対話 ③ カウンセリング ④ ドラマ ⑤ 伝記

問七 傍線部7について、この抜き書きの主張にもっとも近いものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート)。

ト g。

- ① 観ている人を引き込むために、できるだけドラマのなかに現実を反映させるべきである。
- ② ドラマで現実を語ることなどできないのだから、遠慮せずにすべて嘘で固めるべきである。
- ③ 本当らしく嘘をつくのはむずかしいから、割り切って現実に近づける方がドラマをつくりやすい。
- ④ ドラマをつくる際には嘘をつくのか、それとも現実を反映するのか、どちらかに決めた方がいい。
- ⑤ ドラマを現実近づけることは必要だが、それだけで魅力的な作品になるとはかぎらない。

問八 傍線部8「抜き書きをやめたことが悔やまれる」と筆者が語る理由を、本文の内容に基づき、「過去」と「現在」の二つの語を用いて、記述解答用紙I 8の指定に即して二十五字以上三十字以内で答えよ(句読点も一字と数える)。

Ⅱ A 次の1～3の()内のカタカナを漢字に直し、4～6の()

()内の漢字の読みをひらがなで記せ(解答欄は記述解答)

用紙Ⅱ A 1～6)。

- 1 丘の向こうに(グンジュ)工場があつた。
- 2 今年度の研究成果をシンポジウムで(ソウカツ)する。
- 3 (シヨハン)の事情を考慮する。
- 4 (得体)の知らない不安が私たちを襲つた。
- 5 年度末までに(暫定)的な結論を出す。
- 6 練習の成果が(如実)に現れた。

Ⅱ B 次の7～10の()内のカタカナと同じ漢字が当てはまるものを①～⑤からひとつ選び、その数字をマークせよ(解答欄

はマークシート h k)。

7 弾丸は標的に(メイ)中した。

- ① 「メイ」誉を守る ② 感「メイ」をうける ③ 「メイ」快な返答 ④ 「メイ」運がつきる ⑤ 同「メイ」をむすぶ

8 あの人は一族の(タイ)面ばかり気にしている。

- ① 「タイ」決姿勢 ② 身「タイ」測定 ③ 「タイ」遇改善 ④ 「タイ」然自若 ⑤ 付「タイ」決議

9 彼女は芸術文化(シン)興財団に勤めている。

- ① 新「シン」気鋭 ② 「シン」睦会 ③ 「シン」用金庫 ④ 「シン」議 ⑤ 見逃し三「シン」

10 彼は楽(テン)的な性格で人気者だ。

- ① 「テン」眼薬 ② 万物流「テン」 ③ 有頂「テン」
④ 人気「テン」のメニュー ⑤ 個「テン」を開く

Ⅲ 次の文章を読み、後の問に答えよ。

越前の国敦賀の湊は、毎日の入舟、判金一枚ならしの上米ありといへり。淀の川舟の運上にかはらず。万事の間丸、繁昌の所なり。ことさら、秋は立ちつづく市の借屋、目前の京の町、男まじりの女尋常に、その形気、北国の都ぞかし。旅芝居もこころを心がけ、巾着切も集まれば、今時の人かしこく、印籠はじめからさげず、鼻紙袋も内懐に入れしは、手のとどく事にあらず。この中にも錢を一文ただはとられず、盗人仲間もむつかしの世や。とかく正直の頭をさげて、当座の旦那あひしらひに物買ひをまねき、商上手の者は世をわたりかねず。

町はづれに、小橋の利助とて、妻子も持たず口ひとつをその日過にして才覚男、荷ひ茶屋しをらしく拵へ、その身は玉だすきをあげて、くくり袴利根に烏帽子をかしげに被き、人よりはやく市町に出で、「えびすの朝茶」といへば、商人の移り気、咽のかわかぬ人までもこの茶を呑みて、大かた十二文づつなげ入れられ、日ごとの仕合せ、程なく元手出来して、葉茶見世を手広く、その後はあまたの手代をかかへ大問屋となれり。これまでは我がはたらきにて分限になり、人のほめ草なびき、歴々の乞聲にも願ひしに、「一万両よりうちにて女房をよばず。四十まではおそからず」と、当分の物入りを算用して、銀の溜るを慰みに、淋しく年月を送りぬ。

それより道ならぬ悪心発りて、越中・越後に若い者をつかはし、捨り行く茶の煮辛を買ひ集め、京の染物に入る事と申しなし、吞茶にこれを入れませて、人しれずこれを商売しければ、一度は利を得て家栄えしに、
4 A これをとがめ給ふにや、この利助俄に乱人となりて、我と身の事を国中に触れまはり、「茶辛茶辛」と口をたたけば、「さてはあの分限さもしき心底より」と、人の付合ひ絶えて、薬師をよべど行く人なく、おのづから次第よわりに、湯水のかよひ絶えて、既に末期におもむき、

「我、今生のおもひ晴らしに茶を一口」と

4 B

を漏す。目に見せても咽に因果の閑居りて、息も引き入る時、内蔵の金子

取り出させて跡や枕にならべ、「我が死んだらば、この金銀誰が物にかなるべし。思へば惜しやかなしや」と、しがみ付きかみ付き、涙に紅の筋引きて、顔つきはさながら角なき青鬼のごとし。面影屋内を飛びめぐりて落ち入るを、押し付くればよみがへ

りして、銀を尋ぬる事三十四五度に及べり。後には下々も愛想つきて物すごく、病家に行く人もなく、やうやう台所に大勢集

まり、棒乳切木を手ごとに持ちて身用心をして、二三日も音のせぬ時、あまた立ちかさなりて見しに、金銀に取り付き眼を開

きし有様、人皆魂なかりき。そのまま乗物におし込み、野墓に送りける折ふし、春の日の長閑なるに、俄に黒雲立ちまよひ、

車軸平地に川を流し、風枯木の枝折つて、天火ひかり落ちて、利助がなきがらを、煙になさぬ先に取りてや行きけん、明乗物ば

かり残りて、眼前に火宅のくるしみ、おのおのにげ帰りて、皆菩提心にぞなりにける。

(井原西鶴『日本永代蔵』より)

注一 判金一枚ならしの上米 大判一枚平均の入港税。

注二 問丸 問屋のこと。

注三 荷ひ茶屋 茶釜・茶器などをかついで煎茶を売り歩く商売。

注四 利根に かいがいしく賢そうに。

注五 煮辛 煮殻。茶の煮出し殻。

注六 面影 幽鬼のような姿で。

注七 乳切木 中央を両端より細くした護身用の棒。

注八 車軸 車軸のような大粒の雨。

問一 傍線部1「北国^{ほくこく}の都ぞかし」の文中の意味としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ（解答欄はマ

ークシート1）。

① まるで北国の都のようだ ② ここが北国の都かもしれない ③ 北国の都といわれるだけある

④ 北国の都と呼ぶことにしよう ⑤ かつて北国の都であった

問二 傍線部2「世をわたりかねず」の文中の意味としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ（解答欄はマ

ークシートm）。

① 世渡りに困ることはない ② 世渡りに困ってしまう ③ 世渡りしようとすらない

④ この世を理解できない ⑤ この世を理解しようとしな

問三 傍線部3「道ならぬ悪心」の具体的な内容としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ（解答欄はマ

ークシートn）。

① 敦賀の港の人混みで盗みをする

② 京の染物を盗み、それを売って金を得る

③ 正体を偽りながら荷い茶屋を商う

④ 自分は富豪であると信じさせて女房をもらう

⑤ 捨てられる茶の煮殻を飲み茶に混ぜて売ること

問四 空欄 4 A と空欄 4 B に当てはまる語としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシ

ート
o)。

① 4 A 薬師くすり 4 B 涙

② 4 A 天 4 B 茶

③ 4 A 商人あきんど 4 B 息

④ 4 A 若い者 4 B 湯水

⑤ 4 A 天 4 B 涙

問五 傍線部 5「愛想あいさうつきて」の理由としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート

p)。

① 周囲の助言を聞き入れないため

② 茶を飲み続けようとするため

③ 弱った体で市に出ようとするため

④ 金への執着が非常に強いため

⑤ 内蔵以外にも金を隠していたため

問六 傍線部 6「人皆魂なかりき」の理由を記述解答用紙Ⅲ 6 の指定に即して

6 A

は五字以上十字以内、

6 B

は十字

以上十五字以内で答えよ（句読点も一字と数える）。

人々が病室をのぞいてみると、

6 A

が

6 B

状態であったため。